

クラウドGISとスマホを活用した地域再発見ツーリズム

見て楽しかった
ただけでは
もったいない



高低差などから街の成り立ちを紐解く人気テレビ番組から学ぶ

番組の特徴と面白さ



森田一義。言わずと知れたこの番組の全てに出演するエンターテイナー

従来の街歩きや旅番組と異なり、見過ごされてきた町の地形の特徴や地質、ちょっとした段差や道の曲がり方などを観察することで、町の成り立ちの歴史、人々の暮らしまでもがそこから見えてくる、そうだったのか！という謎解きの面白さがある

地域再発見の旅へつなげる

インタシ
紹介タ



桑子真帆アナ
2015#1長崎から
#35水の国・熊本
まで35回

毎回、学ぶことが多く、実際に番組で訪問した場所をスマートフォンに表示させ、簡単な解説と写真を付加することで、個別にあるいはグループで地域再発見の旅につなげるデータベースとして幅広く活用できる

現場での使い方の基本

インタシ
紹介タ



近江友里恵アナ
2016-2017#36京
都・嵐山から#100
宮崎まで65回

番組を見た場合でもその場所を実際に訪問するには、ピンポイントでの地点の特定が必要。スマートフォンにExplorer for ArcGIS (iOSとAndroidに対応)のアプリをインストールし、検索窓で「地域再発見の旅」を入力することで、場所の特定が可能となる

アプリの作成方法について

インタシ
紹介タ



林田理沙アナ
2018#101京都・銀閣
寺から#133大阪ミナ
ミまで33回継続中

参考・引用資料を基に、番組内で訪れた場所をArcGIS for Desktopでポイントシェイプとして作成し、ArcGIS onlineでアップロード。クラウドに格納することでスマートフォンのExplorer for ArcGISで見ることができる

京都で放送された事例をみると

京都編では以下の8回がとりあげられている。
#0京都の復興#36嵐山#37伏見#69清水寺#70祇園
#101銀閣寺#102東山#103宇治

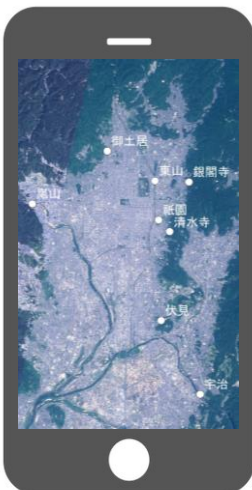


鴨川からの東山の風景は2つの山、比叡山と大文字山が尖って目立つ。両者の間にはなだらかな弧を描くように窪んでいる。尖った部分がホルンフェルスの硬い岩、凹んだところが花崗岩、風化の速度の違いでこのような地形を見ることができる



大地が削られ、そこから日本の美へと繋がった

花崗岩は空気に触れると風化が早く、風化すると真砂と呼ばれる。黒雲母は薄い板状で真先に流れさり、白い石英と長石が河川に堆積する。これが白川の名前の由来となり、この白い砂は銀閣寺を始め社寺の枯山水などの庭園の美に繋がっていく



嵐山の絶景、
渡月橋はなぜ
美しい

四季折々の美しさを見せる嵐山は、背景の山、渡月橋、大堰川が上下各30度の角度に全て取まるといふ景観美の法則から美しく感じると言われている。また、背景の山が急傾斜であることから木々が1本1本明瞭に見えることが関係している

豊臣秀吉の御土居の痕跡



豊臣秀吉は天下統一後、京都大改造を実施。京都をぐるりと取り囲む延長約23kmの御土居を築造。堀と土塁で構成され、内側を洛中、外側を洛外として区別した。目的は謎とされるが、外敵の侵入防止、洪水からの堤防の役割などが指摘されている

これまでの放送で訪れた場所の詳細地点が全てスマートフォンで閲覧可能(解説付き)



この図は放送で訪問した地点を表している。スマートフォンのExplorer for ArcGISで表示させ、移動拡大で現地の観察ポイントを事前に確認し、また現場でのポイントへのナビゲーションに使用する。ポイントにはその場所の名前、概要と添付の写真などを付加

参考・引用資料

- ・プラタモリ 放送録画 (#1から#132)
- ・NHKプラタモリ公式ホームページ

<http://service-news.tokyo/buratamori-ichiran-13318>

- ・プラタモリ 第1巻～第18巻 角川書店
- ・トラベルジャーナル

<https://www.nhk.or.jp/buratamori/list/index-36-40.html>

おこわり

Explorerで閲覧できるアプリのコンテンツは現在作成途中で番組終了時には完成予定